栗木 敏男

1. 授業の概要(ねらい)

本実習は観光を「より身近に」「より幅広く」「より主体的に」学ぶためのものである。都市におけるさまざまな観光テーマを取り上げ、行政、観光協会、地元の取り組みなどに対する理解を深め、都市観光のあり方を模索する。 そのためフィールドワークを中心とした授業を行う。現地ではテーマに即したゲストスピーカーを招聘し、現地でしか学べない知識・情報を把握したうえで、問題と解決策をとりまとめることを目指す。

2. 授業の到達目標

都市で展開されている観光資源を修得し、さらに問題点や将来像について討論して発表できる。 フィールドワークを通して、現地を直接観察し、その関係者との対話・聞き取り、そして現地での史料・資料の採取を行い、レポートをまとめることができる。

3. 成績評価の方法および基準

出席は必須である。フィールドワーク(計2回)を欠席すると単位は与えられない。①グループワーク及びフィールドワークへの積極的な取り組みと②レポートの内容・発表により評価する。それぞれ、①40%、②60%とする。

4. 教科書·参考文献

教科書

テキストは特に指定しない。適宜資料を配付する。

5. 準備学修の内容

フィールドワークの観光資源の事前調査をしておくこと。

イントロダクション、受講者選別

6. その他履修上の注意事項

グループワーク・フィールドワークが中心であるため、受講者は15名をめどとする。参加者が多い場合は、抽選にて決定する。また、責任とマナーが求められる。フィールドワークのテーマや訪問先、日程・集合場所などの詳細は、第1回の授業にて説明するので、必ず参加すること。また、交通費などフィールドワークにかかる費用は学生個人負担となるので、留意すること

7. 授業内容 【第1回】

【第15回】

テーマの概要、グループ分け
テーマ1の研究1
テーマ1の研究2
テーマ1の研究3
テーマ1の現地訪問
テーマ1のまとめ・中間発表
テーマ2の研究1
自主研究
テーマ2の研究2
テーマ2の研究3
テーマ2の現地訪問
テーマ2のまとめ、中間発表
グループごとの発表・意見交換

総括